

Affiliated with the International Association  
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI  
Chartered October 30, 1994



〒 191-0053  
東京都 日野市 豊田 4-25-6  
山本 英次 TEL:090-3239-5355  
Fax:042-589-5080  
E-mail: h\_yama1941@samba.ocn.ne.jp

2022年 2月

第320号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長	山本 英次	国際会長 キム・サンチェ(韓国) 主題「世界とともにワイズメン」
副会長	茂木 稔	スローガン「愛と尊敬で世界を癒そう」
書記	花輪 宗命	アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート) 主題:「100年を越えて変革しよう」 スローガン:「健康第一」
会計	小口 多津子	東日本区理事 大久保 知宏(宇都宮) 主題:「私たちは次の世代のために何が出来るか」 スローガン「絆を深める時」
直前会長	花輪 宗命	あずさ部部长 長谷川 あや子(八王子)
担当主事	中里 敦	主題:「道を拓く〜愛と協力によって」
プリテン	茂木 稔 山本 英次 大久保 重子	クラブ会長 山本 英次 主題:「コロナ禍を乗り越えて、新時代のクラブへ」

### 今月の聖句(2022年2月)

今この時、あなた方の余裕が彼らの欠乏を補うなら、いずれ彼らの余裕もあなたがたの欠乏を補うことになり、こうして、平等になるのです。「多く集めた者も余ることがなく、少なく集めた者も足りないことはなかった」と書いてあるとおりです。  
(新約聖書-コリントの信徒への手紙二 8:14~15)

### 1月第一例会卓話

「コミュニケーションの心得・極意」を拝聴して

八王子クラブ 書記 花輪宗命

八王子ワイズメンズクラブは、新たな年の幕開けとなる1月の第1例会に、現甲府21ワイズメンズクラブ会長の米長晴信氏をお迎えして、「コミュニケーションの心得・極意」と題する卓話を何う楽しみに浴しました。

当初、米長会長は、八王子までお運び頂いて、対面でお話くださる予定でしたが、折悪しくも、全国的なオミクロン株の急拡大に遭い、急遽ZOOMによる例会に切り替えたため、米長会長の響けに接することは叶わなくなりましたが、案に相違して、米長会長の人気と知名度を反映して、都内

### 2022年2月例会プログラム (ZOOM)

日時: 2月26日(土) 17:30~19:00

場所: ZOOM

(担当班 B班 花輪、望月、並木真、久保田)

司会: 花輪

開会点鐘 会長

ワイズソング 一同

ワイズの信条 一同

ゲスト・ビジター紹介 会長

聖書朗読・祈祷 並木真

卓話: 「ひつじぐもの現状・

コロナ禍での学生の苦悩」

中央大学ひつじぐも委員長 関口 遼

Happy Birthday 会長

報告・連絡事項 会長・各担当

閉会点鐘 会長

### 先月の例会ポイント (1月)

在籍	12名	切手(国内・海外)	0g
メン	8名	累計	0g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	67%	累計	0円
メネット	1名	スマイル	0円
ゲスト	1名	累計	64,310円
ビジター	10名	オークション	0円
ひつじぐも	0名	累計	0円

のワイズメンズクラブなどから10名に及ぶビジター・ゲストの参加を頂き、寧ろ盛大な例会として盛り上がりました。

周知のように、米長会長は、かの有名な米長永世棋聖の甥御さんであるばかりでなく、そのファーストネームの「晴信」は、甲斐武田家19代当主の武田信玄（信玄は、出家後の法名）の諱と被る並々なぬ出自の方ですが、ニューヨーク育ちの経歴を生かして、1990年～2000年にフジテレビ報道局社会部・政治部・海外特派員として活躍されました。

また、2007年から2013年にかけて地元山梨を代表する参議院議員として、政界でも活躍された経歴もお持ちです。その華やかな職歴の中で、米長さんは視聴者や国民に語りかけ、彼らが渴望する情報を、要点を抑えて手際よく伝える技を自ら磨いて来られたようです。今回の卓話は、その片鱗をご披露してくれたものでした。

世の中には「3分間スピーチ上達法」などのコミュニケーション能力の啓発書が溢れていますが、米長さんのお話は、上記の実践活動の中で培われた「心得・極意」でしたので、眼から鱗の説得力があるものでした。

今日、全国のワイズメンズクラブでは、高齢化の進展とコロナ禍に直面して、EMCを積極的に進める課題にとりくんでいます。米長さんのお話は、EMCを展開する上でも、示唆に富む、有益なお話でした。紙幅の関係で、ここでその詳細をご披露することはできませんが、以下にその主な要点をご紹介します。



甲府21クラブ会長 米長 晴信 ワイズ

私が、米長さんのお話の最も重要なポイントと思ったのは、人に語りかけ、何かを伝えたい時に真っ先に念頭に置くべきことは、「誰」に「何」を伝えるかを明確にイメージすることです。こちらの一方的な思いで、聴き手の立場や求めているものとは関係なく語りかけるのではなく、相手にとって有益であろうと思われる事で、こちらも話したい事を、入念に準備して（仕込み）、それを付箋にしたためて紙に貼り付けながら話の運び（構成）を考え、本番では、相手が受け入れられる時間の枠内に、それを（原稿の形でまとめるのではなく付箋を適宜配置した表のまま）見

ながら、相手の目を見て話すということを心がけるべきだことです。

### Zoomによる会合とブリテン編集のとまどい

ブリテン担当 茂木 稔

各クラブにおいても会合がほとんど Zoom で行われることが多くなり、ブリテンの編集に当たる方は皆大いに困っていると思います。

特に私の場合は一昨年上期に我がクラブで Zoom の知識獲得に向けて、全員がその勉強会をしていた折に、私は胆石で入院して大変痛い思いをして 22 日間も病院のご厄介になり、退院はしたものの体力は大きく落ちてしまいました。そして秋が涼しくなる 11 月までその影響は続くこととなりました。

当クラブのブリテン編集・作成は、現在会長を務めている山本英次さんと、それを補佐する私で、ほぼ 20 年続けております。しかし、山本さんの会長の任により私一人で編集に当たることになりました。

そして昨年春からデスクトップパソコンを、ウィンドウズ 10 型へと買い替え、そのアプリケーションソフトも、ワード 2019 を入れ、また画像アプリも新しいバージョンに入れ替えしたところ、以前はウィンドウズ 7 で慣れていた、特にワードが余りにも前のものと取扱いが変わっていて、しかも表示が小さくなり、拡大眼鏡を使用しないと良く見えない状態です。

以前と異なった画面に慣れるにはかなりの時間が必要です。まして、以前の様に週に一度は 18 年も続いている自分のブログを更新していた時とは違い、最近では月に一度位しかワード文章を書く機会が減っています。

また、記憶力が大変悪くなり、以前ならば何も問題なく出来たパソコンの操作が、なかなか思い出せない事例が多々みえるようにもなりました。

もう一つの大きな問題はブリテンに取り入れる画像が少なくなってきたという事です。Zoom 動画の中から静止動画を取り込むと言う方法が、今の私ではその能力が無いのです。皆さんに依頼した原稿を送られてきたものを見てみると、予定した全頁を埋めるだけの原稿量がないのです。クラブの現状を見るとお願いできる方が少ないので、同じ方についても重ねて依頼する結果になるので、それを避けることが難しくなっています。

その様な訳で今回の 2 月号の作成はかなりの時間が掛かりますが、皆さんお待ち下さい。

会計 小口多津子さんよりの依頼

◇ 会費銀行振り込みのお願い

三井住友銀行 北野支店

(普通) 0720654

東京八王子ワイズメンズクラブ

## YMCA 便り

中里 敦

寒さ厳しく、コロナ危機での生活が続いておりますが、皆さまの健康と生活が守られますよう祈っております。

- ◆Amazon「みんなでサンタクロース」プログラム (Amazon の「ほしいものリスト」を活用したチャリティーキャンペーン) に「下町子どもダイニング」や、日本語支援「にじいろサポート広場」に通う子どもたちへのクリスマスプレゼントとして、51 件の賛同が寄せられた。
- ◆バングラデシュの 7 つの YMCA が運営する NFPE (働く子どもたちの学校) はコロナ禍で休校が続いているが、児童とその家族を支援するため、東京 YMCA は国際協力募金から約 12,000 ドルを送金した。7 つの地域で計 235 世帯に、食料 (米・豆・油・ミルク等)、教材、マスク等の支援物資を届けることができた。
- ◆10 月に開催されたインターナショナル・チャリティーランの支援金により、はじめてウエルネス東陽町と山手ウエルネスで障がい児を対象とした「特別支援短期水泳教室」を冬休み中に実施した。
- ◆「クリスマス募金」の協力をお願いしたところ、個人・団体合わせて 174 件、総額 1,940,500 円のご支援をいただいた (1 月 13 日現在)。皆様のご支援を大切に用いていく。

### <東京 YMCA 主な行事予定>

- ・「YMCA ピンクシャツデー 2022」(いじめ反対キャンペーン) 2 月 23 日
- ・「第 23 回 liby チャリティーコンサート」3 月 13 日  
会場：山手センター (オンライン配信もあり)  
出演：越智光輝とゆかいな仲間たち/三菱商事コーラス同好会 (映像出演)
- ・「第 31 回チャリティーゴルフ大会」4 月 14 日  
会場：PGM 総成ゴルフクラブ

## ひっじぐも便り

中大ひっじぐも 立花さん

こんにちは。中央大学ボランティアサークルひっじぐも 2 年の立花です。今回は私からひっじぐもの最近の活動について紹介します。

昨今、新型コロナウイルスの流行によって私たちひっじぐもは思うように対面の活動を行えていませんでした。そのため前期の活動は zoom を使った顔合わせや勉強会が中心でした。

そんな中、新型コロナウイルス感染者数の減少を受けて、後期からはゴミ拾い活動を対面で行っています。

今回は 2 回目のゴミ拾い活動ということで 1 月 22 日に人通りの多い立川駅前で行いました。当日は 1、2 年生合計 7 人が集まってくれました。

ゴミ拾いをした率直な感想は、駅前だからといって極端に大きいゴミがたくさん落ちているわけではないということです。目立つゴミが道の真ん中に落ちているというよりはむしろ、タバコや空き缶、ペットボトルなどの小さなゴミが、植木の中や自動販売機の周りに捨ててありました。特にペットボトルゴミの量が多く、用意していたゴミ袋 2 つがペットボトルだけでいっぱいになってしまいました。まだ中身が入っている物も多く、中身を捨ててから拾わなくてはいいないので苦労しました。

立川駅前には思っていたよりもゴミが少なかったです。しかしそれでも結構な量のゴミは落ちていました。こういったポイ捨てを減らすためには街中にゴミ箱を増やす必要があると感じました。それだけでもポイ捨てはだいぶ減ると思います。

オミクロン株の感染拡大もあり、今後対面の活動を続けられるかは分かりませんが、少しずつ街をきれいにしていきたいと思っています。

### 今月の聖句によせて (2022 年 2 月)

以下の詩は、江戸時代、越後出雲崎 (現在の新潟県の出雲崎) で生まれ、清貧に生きた禅僧「良寛」(1758 年~1831 年) の詩ですが、今も多く教えられる詩です。

富家は不<sup>ふ</sup>急<sup>きゅう</sup>の費<sup>ひ</sup>、日<sup>ひ</sup>々<sup>び</sup>輸<sup>お</sup>く<sup>く</sup>に究<sup>き</sup>まり<sup>な</sup>無し  
 貧<sup>ひん</sup>士<sup>し</sup>は口<sup>こう</sup>腹<sup>ふく</sup>の為<sup>ため</sup>に、区<sup>く</sup>々<sup>く</sup>と<sup>と</sup>して東<sup>とう</sup>西<sup>ざい</sup>に走<sup>は</sup>る  
 安<sup>あん</sup>ぞ、不<sup>ふ</sup>急<sup>きゅう</sup>の費<sup>ひ</sup>を省<sup>せ</sup>いて貧<sup>ひん</sup>士<sup>し</sup>の喉<sup>のど</sup>をう<sup>う</sup>るおさ<sup>さ</sup>ざる  
 彼<sup>か</sup>此<sup>こ</sup>互<sup>た</sup>いに憂<sup>うれ</sup>いを分<sup>わ</sup>か<sup>か</sup>たば生<sup>せい</sup>民<sup>みん</sup>余<sup>あ</sup>裕<sup>ゆ</sup>有<sup>う</sup>らん

「富める人は生活に必要なものにも毎日お金を使い、際限がない。貧しい人は食べるために毎日あちらこちらと走り回っている。どうして富める人は不要なものを省いて貧しい人を助けないのか。富める人も貧しい人も、それぞれに悲しみや困難を分かちあえば、すべての人が十分に恵まれた生活をおくることができるだろうに。」

未だ衰えをみせない新型コロナウイルス禍は、今の格差社会の最も弱い部分をさらけだしているように思えます。今月の聖句にあるように、旧新約聖書は一貫して、互いに分かち合うこと、平等に生きることが何よりも大切であることを説いています。

良寛は江戸時代にすでに格差社会の問題を指摘し、これを批判していました。あらためて時代をこえて、聴くべき言葉を持つ人に会ったように思いました。

ワイズメンズクラブでは、今月、2 月を TOF (断食のとき) 強調月間として、例会などでの食事を抜き、相当分のお金を、生活に困難を抱える人や地域の支援にあてることとしています。今月、あらためて、「分かち合いつつ、共に生きる」ことに思いを寄せ、日々の生活を正したいものです。

並木信一



## 《 報告 》

2022年1月第一例会 ZOOMによる例会

日時：2022年1月22日 18:00～20:00

出席者（敬称略）：

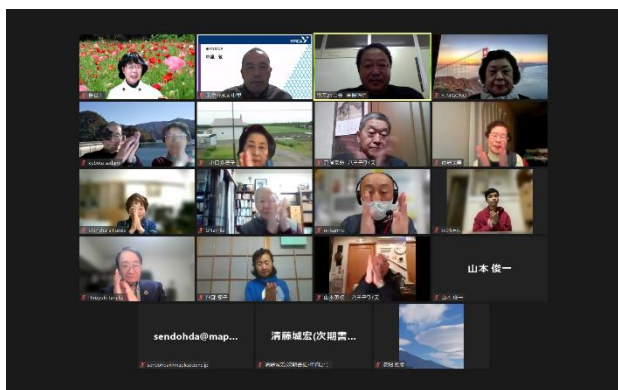
メンバー： 山本、並木（信）、小口、長谷川、菅野、  
中里、久保田メン&メネット、花輪

ゲスト： 渡辺敦（中大ひつじぐもOB）

ビジター： 米長晴信（甲府21）、佐藤茂美（東京）、  
田中博之（東京多摩みなみ）、仙洞田安宏（甲府）、  
篠原文恵（東京西）、御園生好子（東京サンライズ）、  
本川悦子（東京西）、山本俊一（甲府21）、  
服部節子（東京たんぽぽ）、漆畑義彦（富士）

卓話：「コミュニケーションの心得・極意」

甲府21クラブ会長 米長晴信ワイズ



1月例会スクリーンショット

Happy Birthday： 並木信一さん

### 【報告・連絡事項】

- ① 東京YMCAの活動について 中里主事
- ② 2021・2022年度各種献金について 小口会計
- ③ 前期決算報告 小口会計
- ④ 第2回SDC評議会について； 2月12日（土）  
13時から ZOOMによる
- ⑤ ワイズナイトフォーラムについて：2月26日（土）  
卓話者；山田公平氏（宇都宮）ZOOMによる
- ⑥ あずさ部評議会への出席申し込み；  
締め切り1月29日 山本会長
- ⑦ 次期会長・部役員研修会について： 対面開催（@東山  
荘）を断念、ZOOMで実施（日時未定）

2月のお誕生日

2月21日 久保田佐和子さん

## 高尾わくわくビレッジ便り

館長 菅野牧夫

早いもので2022年も1ヶ月が過ぎました。  
先月お客様が戻ってきたというお話をしていましたが、1月に入りオミクロン株の拡大により状況は一変してしまいました。

初旬は日常が戻ったように賑わいを見せておりましたが、中旬からはお客様もぱったりと少なくなり寂しい状況になっています。

1月の宿泊人数は1,000名弱となりました。通常の1月の宿泊人数が1,600名程になりますので、38%の減少になります。

オミクロン株の拡大スピードはいまだかつてない速さで広がっており、宿泊されるお客様が減ってしまうだけの問題ではなく色々ところで支障をきたしてきています。

近い人たちの中でも感染してしまったという話を聞くようになってきましたが、もしも私たちスタッフが濃厚接触者と判断されてしまうと、出勤ができなくなってしまいます。

1日に何人かのスタッフが出勤停止になると、わくわくビレッジの運営自体が成り立たなくなってしまいます。幸いわくわくビレッジではまだ出勤停止になってしまう状況は発生していませんが、スタッフから事務所に電話があるたびに冷や冷やしています。綱渡りを続けている毎日です。

1月23日から八王子市の3回目のワクチン接種の施設貸し出しが始まりました。3月いっぱいまでで37日間実施され、延22,000人強の方が接種を受けることとなります。ワクチン接種や治療薬の開発が進み、安心できる日常が早く戻ってくることを心から願っています。

わくわくビレッジ1月の「雪景色」

